

防災備蓄倉庫・ヘリポートが完成



総事業費 8 億 1,957 万円

- ◆つがる市防災備蓄倉庫（木造若緑 83 番地）
鉄骨造 2 階建て、建築面積 1,228.8 平方メートル（1 階倉庫 832 平方メートル、2 階研修センター 396.8 平方メートル）
- ◆つがる市防災ヘリポート（木造若緑 78 番地）
面積 17,145.76 平方メートル

近年、全国的に豪雨や地震などの災害による被害が甚大化しています。本市においても、2、895 畝の農地が被災し、被害額が 31 億 9,236 万円にも上った 8 月の大雨は記憶に新しいところです。

市では、令和 2 年度から、防衛省の民生安定施設整備事業補助金を活用し、現在建設中のつがる市総合体育館の隣に、「つがる市防災備蓄倉庫」と「防災ヘリポート」の整備を進めてきました。

このほど、本市の防災拠点となる備蓄倉庫とヘリポートが完成し、11月15日、落成記念式典が行われました。

倉光市長は「市民の防災意識の高揚と防災基盤の強化を図り、より災害に強いまちづくりを推進してまいります」と式辞を述べました。

倉庫には、段ボールベッドおよびパーティションが各 500 セット、不織布マスクが 38 万枚をはじめ、5 千人の 3 日分に当たる食料などの非常用物資が備蓄可能です。

倉庫 2 階には、防災研修センターも整備され、市民が自主防災組織の育成や指導を行うために利用できるほか、災害時は災害救助隊などの待機場所として運用できます。また、ヘリポートは災害や事故の発生時に、ヘリコプターの機動性を生かした迅速かつ効率的な支援・救助を可能にし、市民の安心安全に役立てられます。



ヘリポートに着陸する自衛隊の輸送ヘリ
(落成式で行われたデモンストレーション)



物資を備蓄する倉庫内観



テープカットで落成を祝う関係者

市政発展へのご尽力に感謝

～令和4年度つがる市表彰受賞者～

特別功労賞



白戸 勝茂
(豊富町)

45年にわたり交通指導隊員として交通安全思想の普及高揚に努め交通事故の抑止に貢献



特定非営利活動法人
つがる縄文の会
(木造千代町)

14年にわたり縄文文化の魅力の発信活動に尽力し、「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界文化遺産登録に貢献

川嶋大史理事長

功労賞



福士 光俊
(森田町上相野)

令和3年6月、図書購入のため多額の私財を寄付し、市立図書館の蔵書の充実に貢献

市では、市民または市に縁故の深い方で、福祉、勸業、地方自治、教育、文化などの各分野において、市の発展に寄与し、優れた功績のあった方に感謝の意を表して表彰を行っています。

令和4年度は、市政発展にご尽力くださいました2名と1団体を表彰しましたので、受賞者とその功績を紹介します。(敬称略、順不同)

令和4年度子育て世帯等臨時特別給付金（県分） の申請はお済みですか

新型コロナウイルスの影響が長期化する中で、物価高騰に直面する子育て世帯の生活を支援するため、0歳から高校3年生までの子どもを養育する世帯に、県独自の対策として、児童1人につき2万5千円を支給しています。(詳細はQRコード参照)

つがる市から児童手当を受給していない方（公務員で所属庁から児童手当を受給されている保護者や高校生だけの世帯で児童手当を受給していない保護者）は、12月31日(土)までに申請が必要です。まだ申請されていない方は、忘れずに申請してください。

申請が必要と思われる方には10月中旬頃に案内通知および申請書を送付しています。お子さんが市外にお住まいの方は、子育て健康課までお問い合わせください。

※土日祝日および12月29日～31日は、市役所が閉庁日ですので、郵便局で消印をもらい郵送していただくなど、ご留意ください。

【申請・問い合わせ先】 子育て健康課 電話42-2111（内線302）

